

当別ダム定礎式 10月10日

平成 24 年度完成を目指して進捗中の当別ダムで、高橋はるみ知事をはじめとする工事関係者ら約 250 人が参列し、式典を行いました。

はじめに修祓式しゅうぼつしきにより玉串奉奠たまぐしほうてんなど神式の祭礼で工事のお祓いを行った後、ダムの悠久堅固を祈念するため礎石を埋納する定礎式が行われました。

来賓の祝辞のあと、定礎が搬入され、ダム中央の標

高 29 m の位置に埋設されました。

ダムの建設により、移転した元住民ら 40 人あまりも式に望み、本格的な工事の開始を感慨深く見守っていました。

今後も工事は昼夜体制で進められ、現場は一般の見学もできます。

(▼申込み先 当別ダム本体工事事務所 ☎ 25 - 2360)



①ダム建設現場全景
②修祓式（玉串奉奠：泉亭町長はじめ来賓、工事関係者が拝礼）

③定礎式（鎮定の儀：礎石の周りにスコップで^注CSG材を入れる高橋知事）

④万歳三唱（竹田町議会議長）
⑤ダンプの荷台には祝当別ダム定礎の文字が

^注 CSG ……ダム建設地周辺で採取された砂利にセメントを練り混ぜた材料を CSG 材といい、工事費の削減や環境保全に配慮された工法です。

